

英語研修プログラム

オーストラリア モナシュ大学英語研修プログラム参加者募集のお知らせ (2012年2月25日～3月25日)



この研修は、九州大学を含む7大学(一橋大学、東京学芸大学、お茶ノ水大学、埼玉大学、名古屋大学、大阪大学)合同研修企画

として、モナシュ大学が準備したプログラムです。授業には、オーストラリアの文化、歴史等に関する内容が含まれており、これらを学びながら英語の Listening ・ Speaking ・ Reading ・ Writing の4技能を総合的に向上させます。また、通常の研修に加え、モナシュ大学の学部スタッフによる講義を受けたり、各自の定めたテーマに対して調査を行ったうえ英語でのプレゼンテーションを行ったりなど、積極的に参加することが求められる授業スタイルです。その他にも現地日本語クラスへの参加や現地の学校訪問、スペシャルアクティビティ等も予定されております。九州外の他6大学との交流も意義深く好評で、帰国後も交流が継続されています。

メルボルンはシドニーに次ぐオーストラリア第2の都市でヨーロッパ風の町並みと緑が美しくガーデンシティと呼ばれ、全豪オープンテニスや、F1 レースでも有名です。ホームステイしながら研修や現地体験の中で英語を学ぶ機会がたっぷりです。皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

募集説明会開催！各回とも前回参加者の体験発表を予定しています。

- (1) 伊部地区 10月25日(火) **実施済み** 12:10～12:50 会場・センター1号館 1302教室
- (2) 箱崎地区 10月26日(水) 12:10～12:50 会場・国際ホール
- (3) 箱崎地区 11月1日(火) 12:10～12:50 会場・留学生課2階会議室

*11月1日(火)は、モナシュ大学から担当スタッフが来日し説明の予定です。

研修プログラム概要

<研修場所>

Monash University English Language Centre (MUELC)

モナシュ大学イングリッシュ・ランゲージセンター

住所：オーストラリア ビクトリア州メルボルン

URL：www.monash.edu.au/englishcentre/

<期間>

渡航期間：2012年2月25日(土)～3月25日(日) 30日間 福岡発/福岡帰着

研修期間：2012年2月27日(月)～3月23日(金) 4週間

<旅程日程>

月日	予定	滞在方法
2/25 (土)	福岡空港集合後、オリエンテーション 10:00(予定)福岡空港よりメルボルン空港へ向けて出発(SQ) (シンガポール乗り継ぎ:予定)	機中泊
2/26 (日)	7:50(予定)メルボルン空港到着 現地係員による出迎え後キャンパスへ移動。ホストファミリーと対面、ホストファミリー宅へ移動。	ホームステイ
2/27 (月) 3/23 (金)	研修	
3/24 (土)	メルボルン空港へ移動 16:45(予定)メルボルン空港より福岡空港へ向けて出発(SQ) (シンガポール乗り継ぎ:予定)	機中泊
3/25 (日)	8:00(予定)福岡空港到着後、解散	-

※上記日程表は、10月1日現在のものです。現地事情及び航空会社の都合により、変更になる場合があります。

<募集対象者>

九州大学に在籍する学部学生・大学院学生（英語力不問）

<募集人員>

20名予定（初参加者を優先します）

<滞在方法&食事条件>

ホームステイ（1人部屋、3食付）（注：1つのホストに九大生1名が滞在しますが、他国学生が滞在している場合もあります。）

<引率者・添乗員の同行はありません> 福岡空港出発時の見送り、メルボルン空港での出迎え、見送りの各サービスがあります。

このプログラムの特徴

- 九州大学を含む国立大学7校専用にプログラムされた4週間の英語集中コースです。
(参加大学：九州大学・一橋大学・東京学芸大学・お茶の水女子大学・埼玉大学・名古屋大学・大阪大学)
- モナシュ大学は1958年創立、ビクトリア州メルボルン近郊にある大学です。州内に6つ、海外に2つのキャンパスがあり、5万人以上の学生が在籍しています。そのうち約15,000人は留学生です。国内で優れている8大学が加入しているGroup of Eightのメンバーでもあります。今回の研修はモナシュ大学のメインキャンパスであるクレイトン・キャンパスにて行われる予定です。
- 英語レベルによりクラス分けが行われ、研修は習熟度に合わせて進められます。
- 研修は4つのメインテーマに沿って進められ、各週に割り当てられています。各テーマは座学に加え、学内外の見学やディベート、ゲストスピーカーを迎えてのワークショップなど多様です。また、授業外アクティビティとしてモナシュ大学日本語クラスに在籍する現地学生との交流も予定されています。
- 研修校のモナシュ大学イングリッシュ・ランゲージセンターには日本人スタッフも勤務しており、日常の研修や生活サポート体制は充実しています。
- 事前オリエンテーションを3回実施予定です。クラス分けテスト・研修概要、現地生活・安全管理、渡航準備を予定しています。

<研修費用-予定->

約¥428,000-

費用は、参加人数、為替変動、航空運賃の変更等により大幅に変わる場合があります。

※費用に含まれるもの：研修費用+ホームステイ（含む食事）、航空運賃、メルボルン空港出迎え（往復）、CIEE 手続き・サポート費用）

※費用に含まれないもの

- ・海外旅行保険（例：東京海上日動B2タイプ 13,810円）、
- ・燃油特別付加運賃（サーチャージ、2011年10月現在 46,200円）
- ・空港関連諸税（2011年10月現在 9,585円）
- ・ETAS（オーストラリア電子ビザ）代（2011年10月現在 1,575円）
- ・福岡空港までの交通費
- ・渡航手続きにかかる一切の費用（パスポート取得時の印紙代等）
- ・個人的な小遣い、電話代、自由行動中の食事など
- ・超過手荷物料金（航空会社の規定による超過手荷物運搬料金）
- ・研修日程以外および自由行動時に伴う費用
- ・滞在先から研修校までの通学交通費
- ・テキスト費用



ビザ

参加者はビザが必要になりますが、ETAS（オーストラリア電子ビザ）のため、領事館や大使館等へ出向く必要は原則ありません。

ビザ取得代行は、2011年10月現在 1,575円で利用できます。

申込締切： 11月22日(火) CIEEへオンライン参加申し込み登録…詳しくは以下へ

お申込からすべての手続きを、国際教育交換協議会(CIEE)日本代表部が代行します。

お問い合わせ先 不明な点はお気軽に下記、CIEEまで、お問い合わせください。

お問い合わせ内容	担当	担当者	連絡先
研修手続きに関して	国際教育交換協議会(CIEE) 日本代表部 http://www.cieej.or.jp/	業務担当: 松野(マツノ) 五十嵐(イガラシ)	(月～金) 9:30～17:30 TEL: 092-736-6742 (研修専用転送) または 03-5467-5502 FAX: 03-5467-7031 Email: group@cieej.or.jp
航空券・ 海外旅行保険に関して	(株)カウンスル・トラベル 観光庁長官登録旅行業第1210号 日本旅行業協会(JATA)正会員	得永 (トクナガ)	(月～金) 9:30～17:30 TEL: 03-5467-5535 FAX: 03-5467-7031

※学内でのお問い合わせは、九州大学 国際交流推進室までお願いいたします。

<お申し込み方法>

★手続き担当の国際教育交換協議会（CIEE）へ直接

★オンライン登録+申込金振込

① CIEE オンライン参加申込登録手続きをお済ませください。…締切 11月22日(火)まで

※オンライン登録ではパソコンのE-mailアドレスの入力が必須となっております。

パソコンのアドレスをまだお持ちでない方は、海外でも使える

yahooメールやGmailなどでアドレスを取得することをお勧めいたします。

Yahooメール→ <http://promo.mail.yahoo.co.jp>

Gmail → <http://mail.google.com/mail/help/intl/ja/about.html>

CIEE や研修校より、資料やお知らせを
パソコンのアドレスに送る場合があります

【CIEE オンライン登録手順】

1.URLへアクセス→ <http://www.cieej.or.jp/exchange/lsaregistration/go.html>

2.ユーザーID、パスワードを入力 → ユーザーID: **Isaonline** パスワード: **Isa5502**

3.入力フォーム立ち上げ、入力

エル

エル

CIEE海外研修参加登録ページ

参加者の方は以下のフォームより登録してください。

参加申込登録をする

ここをクリック

C I E E 参 加 申 込 書

※必須項目にご入力されないと、本フォームは正しく送信されませんので、予めご了承ください。
※半角カタカナや丸囲み数字、ローマ数字などの機種依存文字は使用しないようお願いいたします。

コースコード [必須]	<input type="text"/> ※CIEEよりご案内した指定のコースコードを入力してください
名前 [必須]	姓 <input type="text"/> 名 <input type="text"/> ※全角 (例)国際 花子
フリガナ [必須]	セイ <input type="text"/> メイ <input type="text"/> ※全角 (例)コクサイ ハナコ
NAME [必須]	Family <input type="text"/> First <input type="text"/> ※半角大文字 (例)KOKUSAI HANAKO
	<input type="checkbox"/> あり

指定のコースコードを入力
“KYU”

4.すべての項目に入力後、**入力内容確認へ進む**をクリック

5.入力内容を確認後、**登録する**をクリック(クリックすると元には戻れません)→**登録完了**

ご登録ありがとうございました

申込登録が完了しました。

ご登録Email(携帯)へ自動的に登録完了確認のメールが配信されますのでご確認ください。

国際教育交換協議会(CIEE)日本代表部

国際花子様

CIEE海外研修へのご参加ありがとうございます。
国際様のご登録は完了し、CIEE国際交流事業部へ送信されました。

ご不明な点ございましたら、お問合せください。

<お問合せ>
国際教育交換協議会(CIEE)日本代表部
国際交流事業部
Tel: 03-5467-5502
(営業時間 9:30-17:30 土日祝休)
Email: group@cieej.or.jp
Website: <http://www.cieej.or.jp>

6.確認メールの送信⇒携帯アドレス先へ ※メールが受信されない場合はCIEEまでご連絡下さい。 <メールサンプル↑>

②申込金を以下の口座にお振込ください。……11月22日(火)までに。

【申込金】 5万円(総費用の一部となります)
【お振込み先】 銀行名: 三井住友銀行 支店名: 渋谷支店
預金種類: 普通預金 口座番号: 2553113
口座名義: CIEE(シ-アイ-イー-) 国際交流事業部

※振込み人名の前に必ずコースコードをおつけください。⇒ 例: KYU コクサイ ハナコ

- * オンライン申込と申込金の受領をもちまして、CIEEでは手続き申込受付とさせていただきます。
- * お申込み後のキャンセルについてはキャンセル料が発生いたしますので予めご了承ください。



オンライン参加申込登録とお振込みを確認後、お申込者宛てに
詳細な手続き書類のご案内を送付致します。

◇キャンセル料（取消料）について

万が一研修の参加を取消しされる場合には以下の料金がかかります。

CIEE + カウ ンシル ・ トラ ベル	① 取消し手配料 ⇒キャンセルされた日によって料金が変わります
	② 研修校規定の取消し料 ⇒ 各研修校で決められているキャンセル料です
	③ 旅行費用取消し料 ⇒往復航空運賃等に関するキャンセル料です
①～③の合計 = キャンセル料	

① 取消し手配料は、以下の取消し料規定に従って申し受けます。

申込み取消し受け日	取消し手配料
出発日の31日前まで	¥35,000
出発日の30日前から22日前まで	¥45,000
出発日の21日前から14日前まで	¥55,000
出発日の13日前から 出発日前日 まで	¥65,000

※ご出発当日・出発日以降の取消しの場合、返金はありません。

② については、CIEE 規定の為替レートにて算出した実費をご請求いたします。

③ 旅行費用取消し料 株式会社 カウンスル・トラベル


申込み取消し受け日	旅行費用取消し料
出発日の31日前まで	なし
出発日の30日前から3日前まで	旅行費用の20%
出発日前々日～前日まで	旅行費用の50%
出発日当日	旅行費用の100%

※旅行費用とは往復航空券代にあたる費用をさします。

◇手配団体・旅行会社について

国際教育交換協議会(CIEE)日本代表部は、本部をアメリカにおく、非営利・非政府(NPO・NGO)の国際交流団体です。

モナシユ大学英語研修の「研修手続き」を担当し、関連旅行会社(株)カウンスル・トラベルで航空券等の「旅行手配」を引受けています。

<h3>CIEE 日本代表部</h3> <p>国際交流とTOEFL® テスト日本事務局としての活動の両輪で国際社会で活躍する人材育成を推進</p> <p>国際交流事業</p> <p>1965年に、日本で初めて20代の若者を夏の期間アメリカの大学に組織的かつ継続的に派遣を開始して以来、海外の大学を拠点とした研修を、大学生、教員、社会人を対象として実施してきました。また、高等学校の国際化を目的とした、アメリカとの姉妹校交流事業を日本でいち早く開始しました。さらに、日本国政府の事業への協力など活動は多岐にわたり、これまでの参加者は5万人に上ります。</p> <p>現在は、教職員や大学生を対象とした語学やテーマ型研修、体験、交流プログラムを中心に、新しい時代のニーズに応じて、海外でのボランティアや就業体験(インターンシップ)も企画・運営しています。また、海外の若者のための日本国内におけるボランティアプロジェクトを開発したり、本部が上智大学と提携して実施しているアメリカ人大学生を対象とした留学プログラムの運営にも協力しています。</p>	 <p>www.cieej.or.jp</p> <p>TOEFL® テスト日本事務局としての活動</p> <p>1981年に、米国最大のテスト機関であるETS(Educational Testing Service、本部ニュージャージー州プリンストン)の委託を受け、TOEFL® テスト事務局としてペーパー版 TOEFL® テスト(Test of English as a Foreign Language)の日本での運営を開始しました。テストの世界で最も知名度の高い本テストは、ペーパー版からコンピュータ版を経て、2006年よりインターネット版テスト(TOEFL® iBT)が日本で実施されています。</p> <p>現在は、TOEFL® テスト全般に関する広報やセミナー開催などの研究活動、TOEFL® テスト ITP の運営・実施、ETSによって開発された CriterionSM (クライテリオン)をはじめとする英語教育指導・支援ツールなどの導入・運営などを行ない、TOEFL® テスト受験者ならびに各教育機関に対し、常に最新の有益な情報やサービスの提供に努めています。</p>
<h3>株式会社カウンスル・トラベル</h3> <p>観光庁長官登録旅行業 1210号 社団法人日本旅行業協会(JATA)正会員</p> 	
<p>CIEE プログラムに参加する方々の航空券の手配、海外旅行保険加入手続きを専門に取り扱い、CIEE が提供するプログラムを旅の面から支えている CIEE 傘下のトラベルサービス部門です。また国際学生証・国際青年証・国際教師証の発行も行っています。</p>	

この募集要項・申込手続き案内は説明会でも配布し、10月26日(水)以降下記に設置しています。

一部情報が印刷の募集要項と Web で異なります。

(箱崎地区) 国際交流推進室

その他地区は 下記の "外国人留学生・研究者サポートセンター" に設置しています。

(伊都地区) ウエスト4号館309号室 EAST 内、学務部全学教育課内

(貝塚地区) 貝塚地区事務部教務課棟内

(筑紫地区) 筑紫地区事務部教務課学生係内

(病院地区) 医系学部等事務部学務課薬学学生係内 (大橋地区) 芸術工学部事務部学務課学生係内

Consortium Program

26 February – 24 March, 2012

Consortium Program Purpose

To develop an awareness and understanding of a foreign culture through an immersion experience of living and studying in Melbourne, and to develop inter-cultural competence in the communication skills required of global citizens. This program, which is designed for students from seven public universities in Japan, also provides an opportunity for students to experience cultural and academic diversity within the classroom.

Participating Institutions

1. Hitotsubashi University
2. Kyushu University
3. Nagoya University
4. Ochanomizu University
5. Osaka University
6. Saitama University
7. Tokyo Gakugei University

Program Objectives

This program aims to:

- Enhance inter-cultural competence
- Foster global citizenry i.e. confidence and competence for study abroad
- Develop and improve all key English language skills, emphasising communicative ability
- Expand knowledge and understanding of Australian culture and society
- Encourage language acquisition and practice outside the classroom through interaction with local community groups
- Teach academic skills in an Australian university context
- Develop independent research skills

English language objectives:

- Special emphasis will be placed on improving speaking and listening skills by maximising the opportunities provided by the English language environment.
- Students will be expected to be able to actively participate in informed discussions and debates and deliver high-quality oral presentations.
- In order to do this, students will need to regularly read articles on relevant issues.

Methodology

Monash University English Language Centre (MUELC) language courses are designed with a holistic approach to language learning, in order to enhance students' communicative ability.

Students are expected to participate in class discussion and activities based around real life materials and themes to learn and practise language in context.

Classes are interactive and student-centred. All students participate actively and are expected to give their opinion or contribute their understanding of an issue.

Emphasis is placed on building vocabulary and developing speaking and listening skills; however, lessons incorporate all the four macro-skills to varying degrees. Classes will tend to have a specific focus, subject or theme.

During the program, students will complete a number of assessment tasks which allow them to demonstrate their understanding of the weekly themes.

The tasks and assessments, which are outcome oriented, are associated with the four macro skills and may include research assignments, written reports, oral presentations, class debates, and in-class discussions. Students will receive written and oral feedback on their performance in each of these tasks.

Program Outline

Themes

The program is designed around four main themes. Each theme will form the basis for 20-25 hours-worth of weekly lessons and activities. Each week, students will work towards achieving relevant language and academic skill outcomes.

Extra-curricular activities

In addition to the regular classes, students will also have the opportunity to be engaged in extra-curricular activities designed to complement the weekly themes and enhance their inter-cultural competence and foster global-citizensry.

Timetable structure

Lessons will take place in the morning shift (8.30am-12.45pm) or in the afternoon shift (12.45pm-5.00pm).

Lectures

Lectures will be delivered by class teachers or invited guests. Topics will be aligned to the program themes. Classes will be combined for the lectures where one of the teachers will deliver the lecture while other teachers will be present to support the students.

Theme 1: Living in Australia

Outcomes

By the end of week 1, students should

- be better able to understand the structure and make-up of Australian families
- have an understanding of typical Australian customs and cultural norms
- be able to use English more effectively in everyday situations (such as using public transport, communicating with host families)
- begin to recognise specific features of Australian English
- be better able to interpret and use visual data (e.g. graphs)
- be able to conduct surveys in English using appropriate language structures and present findings in both written and oral form

Assessment task

Survey on one aspect of life in Australia

Lecture

Contemporary Australia

Activity

Students will visit either a school or a neighbourhood house. It is probable that students will visit different schools/neighbourhood houses due to the size of the Consortium group.

School visit:

Students will visit a school and have the opportunity to interact with school teachers and students, and will observe classroom lessons. Every effort will be made to ensure cultural diversity in choosing appropriate school visits.

Neighbourhood House visit:

Students will visit a neighbourhood house and have the opportunity to interact with members of the local community. Neighbourhood houses are local organisations that provide social, educational and recreational activities for their communities in a welcoming and supportive environment.

Theme 2: Multicultural Australia

Outcomes

By the end of week 2, students should

- have an improved awareness of Australian demographics
- begin to understand Australia's aboriginal history and culture
- have an understanding of the academic conventions of essay writing
- be able to use appropriate academic vocabulary and register
- be able to find relevant information from academic texts (skimming and scanning)

Assessment task

Essay on a topic related to multiculturalism (400 -500 words depending on the English level of the students)

Lecture

Immigration and Multicultural Australia

Activity

On this Specialist Activity Day, students will visit the Royal Botanical Gardens or Flagstaff Gardens, and the Immigration Museum. It is probable that the schedule will be repeated and students will go on the trip on different days due to the size of the Consortium group.

Royal Botanical Gardens / Flagstaff Gardens:

Students will be taken on a guided tour of either the Royal Botanical Gardens or Flagstaff Gardens to study the history of the original inhabitants of Melbourne in a natural environment. They will be shown how Aboriginal people utilised native plants and trees for food, medicine and tools in their daily life, and learn about the importance of the natural world to Aboriginal culture.

Immigration Museum:

During their visit to Victoria's Immigration Museum students will explore the themes of immigration, cultural diversity and Australian culture. Students will have the chance to participate in on-site activities designed to enhance both their understanding of Australia's multicultural heritage and their ability to formulate ideas and discussions in English that are relevant to this topic.

Theme 3: Environment and Sustainability

Outcomes

By the end of week 3, students should

- have an enhanced appreciation of the unique fauna and flora of Australia
- be able to identify and talk about current environmental issues in Australia and worldwide
- be able to use the language of comparison and contrast to discuss environmental issues in Australia and Japan
- understand and be able to use the academic discourse associated with debating
- be able to participate effectively in an inter-class debate

Assessment task

Inter-class debate on a current environmental issue

Lecture

The Environment

Activity

Students will go on a Guided Environmental Walk of Clayton Campus. It is probable that the schedule will be repeated and students will go on the walk on different days due to the size of the Consortium group.

Theme 4: Globalization

Outcomes

By the end of week 4, students should

- have an increased awareness of globalization and its importance to Australia
- be able to talk about economics and trade in the era of globalization
- be able to demonstrate effective critical reading skills
- have an enhanced understanding of how to structure and deliver an academic presentation
- be able to use the language and vocabulary associated with globalization

Assessment task

Individual oral presentation on an aspect of globalization - The length of presentation will vary from 5 to 7 minutes according to the language level of the group, determined upon arrival. Students usually prepare a PowerPoint presentation.

Lecture

Economics and Trade

Activity

Career's workshops:

Students will have an opportunity to enroll in one of the following 2 hour workshops:

- How to find your dream job.
- Writing a Curriculum Vitae that stands out.
- Addressing key selection criteria.
- How to write a cover letter.
- Self promotion on paper and at an interview.
- Answering standard interview questions.
- Demonstrating your ability to work as part of a team.

Guest speakers:

Mr Kenta Koshiba, PhD student, Monash University

The presentation will focus on working overseas, from a career development perspective. Mr Koshiba will share his own experiences of having studied in the USA, Japan, and now Australia.

Ministry of Foreign Affairs, Japan

A representative from Recruitment Centre for International Organisations, Ministry of Foreign Affairs, will give a presentation on career in foreign affairs and working for international organisations such as the UN, UNICEF, and UNESCO.

Extra-curricular activities

Cultural exchange activity – Interaction with students from Japanese Studies, Faculty of Arts

Students will have the opportunity to meet and interact with local students studying ‘Japanese Studies’ at Monash University. Students will be invited to attend a lecture and/or a tutorial and converse in Japanese. Students will need to bring photos (e.g. family, friends, and pets) to facilitate the conversations.

Monash University Study Abroad Information Session

The Monash Abroad office will present on options for further study at Monash including exchange and study abroad programs.

Conversation Groups

Three times in the program, students will have the opportunity to speak informally with a local person in a small group setting. Prior to each session, teachers allocate students to different groups and assist students in preparing vocabulary and topics for discussion. Students are encouraged to prepare before arriving in Melbourne, and for example, to bring photos of their families, and prepare a range of topics (friends, hometown or city, hobbies and so on). These sessions are a highlight for students.

Team Building Activity

Students will participate in a team building activity led by Monash Sports staff. This activity is designed to build cooperation and teamwork among the participants.

The following activities will be arranged subject to availability.

Optional Lectures

Students may have the option of attending lectures on ‘Australian Studies’ at Monash University. The lectures are held in the afternoon and early evenings. (Dates and times are to be confirmed).

Interaction with MUELC students

Students may have the opportunity to mingle with international students from Monash University English Language Centre. The focus of this interaction is to be a communicative activity and encourage students to socialise and make friends.

Independent Learning

Student Talks

Students are expected to read newspapers, view television and listen to local radio. The focus should be on news and current issues, particularly those issues of current interest to local Australians. Students are expected to be able to participate actively in detailed discussions of those issues.

Homework

Students are expected to complete any tasks not finished in class time and to prepare thoroughly for all future classes. Thorough preparation for discussions, debates and oral presentations are also expected. However, the most important task outside the classroom is to use every opportunity to interact with local people.

Academic Development and Enhancement Centre (ADEC)

Students will be introduced to the ADEC which includes a range of resources for language development. Students will be encouraged to identify their learning goals and to develop an Independent Learning Plan targeting areas of their language they aim to develop.

With the assistance of the ADEC staff and their classroom teacher, students will be guided towards to best resources to help them achieve these goals. Independent Learning Plans are stored on a Class Wiki where teachers can comment on how well students are meeting their goals. Students will be advised to study independently in the ADEC after class.

E-Learning

E-learning is integrated into all of MUELC's language programs. The aim is to extend the language learning classroom in an E-learning environment while introducing students to useful tools and Web 2 technologies they can continue to access on their return to their country to continue developing their language.

Some teachers may create a class Wiki. This is a secure online platform which enables students to collaborate and share work and ideas. It will also be used as a classroom management tool by the teachers for the duration of the program. Students will be able to continue accessing this learning resource once they return to Japan. Students will be shown how to use Wikis and will be expected to contribute to the class Wiki throughout the course incorporating reflections on class activities.

Pre-Program Preparation

In order to enhance student's understanding of the course, and of the themes introduced in the programme, a pre-course preparation kit will be sent to students late in 2011. Pre-course preparation will enable students to familiarise themselves with vocabulary encountered during the course, and to gain a broader understanding of the themes and content associated with the programme.

Assessment

Initial assessment

An initial written assessment serves to establish the language level of the Consortium students, and assign them to classes by language level if numbers allow. This assessment will be completed by students prior to departure from Japan. On arrival, students will be given a speaking test in the form of an interview with a teacher.

Assessment tasks

There are five assessment components for the overall percentage grade:

- | | |
|---------------------------------|-----|
| a) Survey (theme 1) | 20% |
| b) Essay (theme 2) | 20% |
| c) Inter-class debate (theme 3) | 20% |
| d) Oral presentation (theme 4) | 20% |
| e) Class participation | 20% |

End of program documentation

Students receive:

- A percentage for attendance
- A teacher's comments
- An overall percentage grade

Graham Down
Director of Studies
Monash University English Language Centre (MUELC)
September 2011